

研修会のこれまでを総括し今後の課題を探る

自然科学研究機構 生理学研究所
浦野 徹



九州地区実験動物技術研修会は、日本実験動物協会の通信教育の一環として実施して15年以上、その後、日本実験動物協会から離れて技術者協会九州支部が主催するようになって20年経過し、私自身はこれらの全ての期間を通して関わり続けました。すなわち本研修会は35年以上の長い歴史を誇っており、大変に有意義な研修会として展開し続けています。今年は技術者協会九州支部が主催して第20回の節目の年となったことから、あらためて本研修会のこれまでを総括し、それを踏まえて今後の課題を考えてみたいと思います。

現在の研修会は、上述のごとくに日本実験動物協会から離れて九州地区を中心とした独立した開催方式をとっており、研修内容としては、実験動物関連の我が国の最新情報、概論講義、2級技術者の試験問題の解説、新旧の機材の展示と説明、マウスやウサギを初めとするいくつかの動物の保定方法から安楽死や解剖に至る実技実習が行われており、だれでも理解できるように、かつあくまでも基礎的な内容を中心にして構成されています。このことが本研修会の大きな特徴です。しかし、逆にこのことが問題点であり今後の課題でもあります。

このうち、前者の九州独自の開催方式については、今まではこれはこれでよかったのですが、今後は日本実験動物協会との連携も見据えるなどして、あらためて検討していく必要性を感じます。また、この研修会とは別に、1級技術者に対する研修会等についても、日本実験動物協会との連携も踏まえて検討・企画・実行していく必要があると考えます。これを実現するためには、まずはこれに関わる組織や人々が一つのテーブルに集まって、可及的速やかに協議を開始することが重要です。

後者の研修内容は本研修会の基本となる部分で、このことは今後も確実に実施していくことが重要です。しかし、ここにも問題点や課題があります。例えば、基本手技を教授する方法については、日本実験動物協会や他の地域で行われている研修内容の情報なども収集し、講師陣はこれらの情報に基づいて現状を見直し、常によりよい方法で研修に臨むことが重要です。また、実験動物関連の我が国の最新情報については、講師陣自ら情報収集を行い、場合によってはこのことを熟知している講師を配する必要があります。

以上のことについて、現状を批判・論評しているだけではダメで、問題を解決すべく、技術者協会九州支部のリーダーシップのもとに、関係する組織の方々の決断と実行を求めますし、私も非力ではありますが可能な限り協力します。皆さんと共に、益々充実した内容の研修会に育てていきましょう。

開催日時： 平成 27 年 9 月 5 日（土）～6 日（日）

開催場所： 熊本保健科学大学

主任講師： 浦野 徹 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
生理学研究所 研究力強化戦略室 特任教授、
獣医師、獣医学博士

特別講師： 西川 尊樹 九動株式会社

講師*： 野口 和浩 熊本大学大学院生命科学研究部、生体微細構築学分野
助教、臨床検査技師、医学博士
坂本 龍一郎 九州保健福祉大学非常勤講師、実験動物技術指導員
荒木 栄一 株式会社 LSI メディエンス、実験動物技術指導員
若松 真矢 株式会社新日本科学、実験動物技術指導員
進村 美穂 一般財団法人 化学及血清療法研究所、
実験動物 1 級技術者

オブザーバー*： 松本 珠美 熊本保健科学大学 医学検査学科 准教授、
臨床検査技師
森本 正敏 熊本保健科学大学 保健科学部
リハビリテーション学科 教授、医学博士、獣医師
豊島 梨沙 熊本大学 実験動物 1 級技術者
加藤 悟郎 宮崎大学 実験動物 1 級技術者

* 敬称略・順不同

協力機関*： 日本実験動物技術者協会九州支部
日本実験動物協同組合九州支部
熊本大学
熊本保健科学大学
九動株式会社
日本エスエルシー株式会社
株式会社 ケービーティーオリエンタル
株式会社 LSI メディエンス
株式会社 新日本科学

* 順不同

受講者数

募集人員： 16 名

受講者数： 20 名（実技協会員：2 名、実動協組合員：5 名、非会員：13 名）

受講費（テキスト代込み）

会員（日本実験動物技術者協会、日本実験動物協同組合）：4,000 円

非会員：8,000 円

< 協力機関のご協力により、格安にて研修会の開催が実現しております >



研修日程

1 日目 8:30～17:30

- ①開講式・オリエンテーション
- ②概論講義（浦野）
動物福祉、法規、環境条件の基準値、
実験用動物の分類、遺伝及び微生物的統御の分類等
- ③最新情報（西川）
（生殖工学技術と試薬開発）
- ④動物スライド供覧（野口）
- ⑤展示物の説明（若松）
- ⑥ビニールアイソレータ（実物有り）と環境因子測定機器の説明（野口）
- ⑦実技実習（野口、坂本、荒木、進村、若松、豊島、加藤）
（検収、検疫、保定法、性別判定、観察、個体識別等）
- ⑧懇親会

2 日目 8:30～19:00

- ① 実技実習（野口、坂本、荒木、進村、若松、豊島、加藤）
（体重測定、採尿法、除毛法、臍垢検査投与、採血、麻酔法、安楽死法、解剖等）
- ②質疑応答
- ③閉校式（修了証書授与含む）

研修会使用動物種

マウス（成獣及び幼若動物）・ラット・ハムスター・モルモット・ウサギ

九動株式会社・株式会社ケービーティール・日本エスエルシー株式会社より
無償にてご提供いただいております



